

6 防災・避難訓練の実施

【在宅人工呼吸器使用者・家族、全ての関係機関】

実際に災害が起こったことを想定し、災害時個別支援計画に基づいた行動ができるか、在宅人工呼吸器使用者・家族及び関係機関で確認しておく必要があります。

また、関係者とともに災害時個別支援計画に沿った防災・避難訓練を行えば、計画どおりに行動可能か点検することができます。近所の方や民生委員等、地域における支援者とも手順等を相談しておきます。

① 区市町村や保健所等

災害時に担当職員が出勤できないことも想定して、他の職員でも在宅人工呼吸器使用者災害対策リストとマップにより、災害の発生地域や被災状況を考慮しながら優先順位を決め、災害時個別支援計画に基づく安否確認を行うことができるよう手順を確認します。

② 医療機関

院内の災害対策会議や防災訓練の際、救急患者の受入れと在宅人工呼吸器使用者の受入れについて検討しておく必要があります。

③ 訪問看護ステーション

災害時の職員の連絡体制や在宅人工呼吸器使用者の安否確認の方法、関係機関との連絡方法等について確認しておきます。

災害時にも在宅人工呼吸器使用者が安全に療養生活を継続するために、日ごろから蘇生バッグの使用や人工呼吸器と外部バッテリーの接続、非電源式吸引器の使用などを行っておきます。

また、在宅人工呼吸器使用者・家族が発災時に慌てることなく対応ができるよう、医療機器や器材、予備物品の管理、安全な移乗方法等についての助言指導が必要です。

訪問看護ステーションの看護計画の中に災害時対策を念頭においた準備事項を入れておくことも有効です。

④ 合同防災・避難訓練

個々の機関による訓練に加え、区市町村の防災・避難訓練などの際に、防災担当部署の協力を得て、近隣の支援者や関係者とともに災害時個別



(2) 在宅人工呼吸器使用者・家族への療養支援

在宅人工呼吸器使用者の状況によってはすぐに避難や受診、入院が必要になる場合もあります。



しかし、在宅人工呼吸器使用者・家族に直接的な被害がなければ、できるだけ在宅療養が継続できる支援体制を整えることが必要です。

区市町村（支援窓口、障害・高齢者等福祉担当部署、保健担当部署）、医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所、指定相談支援事業者等は、情報の共有を行い、在宅人工呼吸器使用者に通常どおりの支援が行えるかどうか確認し、災害時であってもQOL（生活の質）が著しく低下することがないように配慮するとともに、精神的支援も併せて行うようにします。

(3) 災害対策本部への情報提供及び支援の要請

区市町村は、在宅人工呼吸器使用者の在宅療養の継続や避難等に際し、あらかじめ決めておいた方法での支援が困難な場合は、必要な支援についての情報を、区市町村の要配慮者対策班や支援窓口等を通じて、区市町村災害対策本部へ迅速かつ適切に流す必要があります。

緊急搬送、電力復旧、衛生材料等の供給等の支援が必要な場合、消防隊や電力会社、医療関係者、ボランティア等の被災地外からの応援も含めて、区市町村災害対策本部との連携の下に動くことになるため、可能な限り迅速に情報を入れ、支援を要請します。区市町村単独での対応が困難な場合には、区市町村災害対策本部を通じ、東京都へ支援を要請します。

○高潮浸水想定区域図：東京都港湾局・建設局

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/yakuwari/takashio/shinsuisoutei.html>

また、区市町村の本庁・支所や保健所・保健センター、かかりつけ医が所属する医療機関、訪問看護ステーション及び介護事業所、指定相談支援事業者等関係機関のハザードマップも確認しておきます。

ステップ2 災害予想時・災害発生時の対応を決定する

①停電時、②地震発生時、③風水害時等に迅速かつ適切に対応するために、具体的な行動を決めておきます。

★3 ア 決定しておくべき共通事項

(ア) 安否確認をどこが行うのか

どういう場合に、どの機関が安否確認を行い、どのように関係機関に連絡するのかをあらかじめ決めておきます。

また、安否確認を行う機関は、あらかじめ在宅人工呼吸器使用者災害対策リストを作成しておきます。

各関係機関が災害用伝言サービス（災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言版（web171）等）を確認する、訪問看護ステーションが安否や状態を確認し、区市町村の支援窓口等に連絡する、ホームヘルパーからの連絡を待つ、在宅人工呼吸器使用者・家族からメールをもらう、区市町村の福祉のケースワーカーなど要配慮者対策班が訪問して支援窓口等に連絡する、近所の方が訪問して支援窓口等に連絡する、保健所・保健センターが訪問する等、安否確認とその連絡方法は在宅人工呼吸器使用者ごとに異なります。

また、複数の安否確認方法を決めておくことが望ましいです。

要配慮者情報を関係者間で共有するに当たっては、多職種連携システムやSNS等を活用している例もあります。

区市町村の本庁・支所や保健所等の被災や、予定していた安否確認機関が被災した場合などの対応方法もあらかじめ考えておきます。

★4 (イ) 地域における支援者の確保

人工呼吸器が停止するような状況になるなど、搬送が必要な場合には、在宅人工呼吸器使用者・家族のみでの対応は不可能です。日頃か

★4 (続き)

ら、シミュレーションを実施することに努め、家族のみでなく近所の方や民生委員等、地域において複数の支援者を確保しておくことが大切です。

(ウ) 体調の悪化等により在宅療養が困難となった場合の相談先

災害発生時の医療機関の対応は、平常時の対応とは異なる場合があります。災害時にどの医療機関がどのような役割を担うのか、事前に確認しておく必要があります。

その上で、災害発生時に状態が悪化した場合を見据え、相談先(かかりつけ医、訪問看護ステーション、医療救護所等)を区市町村の支援窓口等担当部署やかかりつけ医と話し合っておくなど、事前の備えが大切です。

また、在宅人工呼吸器使用者・家族、関係者は、平常時からどのような状態の悪化が受診、入院の目安となるのかについて、かかりつけ医に相談しておくことが大切です。

【参考：災害時の医療体制】

災害時における診療所、歯科診療所及び薬局は、次の二つの役割を担っています。

① 専門的医療を行う診療所

救急告示医療機関、透析医療機関、産科及び有床診療所は、原則として診療を継続する。

② 一般診療所・歯科診療所及び薬局

「① 専門的医療を行う診療所」以外の診療所・歯科診療所及び薬局は、区市町村地域防災計画に定める医療救護活動や診療継続に努めます。

また、東京都は、被災地の限られた医療資源を有効に活用するため、全ての病院を災害拠点病院、災害拠点連携病院、災害医療支援病院のいずれかに区分しており、それぞれに役割があります(77ページ参照)。

大規模災害等により、通常の医療体制では対応できない場合、区市町村は各地域防災計画等に基づいて医療救護所(78ページ参照)を設置します。

様式 2

災害用備蓄リストー 7日を目安にー

適宜、必要に応じて品目を追加・削除しましょう。避難の際は、この災害時個別支援計画を持参しましょう。

品目		備蓄数	避難時の持出数	置き場所など
呼 吸 関 連	人工呼吸器		<input type="checkbox"/>	
	蘇生 バッグ		<input type="checkbox"/>	
	外部バッテリー		<input type="checkbox"/>	
	予備呼吸器回路		<input type="checkbox"/>	
	予備気管カニューレ		<input type="checkbox"/>	
	加温加湿器		<input type="checkbox"/>	
	パルスオキシメーター		<input type="checkbox"/>	
	酸素 ポンプ		<input type="checkbox"/>	
吸 引 関 連	吸引器	バッテリーなし	<input type="checkbox"/>	
		バッテリーあり	<input type="checkbox"/>	
		非電源式	<input type="checkbox"/>	
	吸引チューブ		<input type="checkbox"/>	
低圧持続吸引ポンプ（唾液を吸引する機器）		<input type="checkbox"/>		
★5 衛 生 材 料	グローブ		<input type="checkbox"/>	
	アルコール綿		<input type="checkbox"/>	
	蒸留水／精製水		<input type="checkbox"/>	
	注射器		<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
栄 養	経腸栄養剤（ ）		<input type="checkbox"/>	
	イルリガートル		<input type="checkbox"/>	
	接続チューブ、注射器		<input type="checkbox"/>	
	経鼻経管栄養チューブ等		<input type="checkbox"/>	
薬	常備薬		<input type="checkbox"/>	
	頓服（ ）		<input type="checkbox"/>	
排 泄	オムツ		<input type="checkbox"/>	
	膀胱留置カテーテル等		<input type="checkbox"/>	
伝 達 思 慮	文字盤など		<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
非 常 用 電 源 等	発電機 使用燃料（ ）		<input type="checkbox"/>	
	蓄電池		<input type="checkbox"/>	
	乾電池		<input type="checkbox"/>	
	延長コード（三又プラグ）		<input type="checkbox"/>	
	シガーソケット・ケーブル		<input type="checkbox"/>	
そ の 他	懐中電灯		<input type="checkbox"/>	
	情報機器（ラジオやスマートフォンなど）		<input type="checkbox"/>	
	ビニール袋、ティッシュペーパー		<input type="checkbox"/>	
	水		<input type="checkbox"/>	